

友 長野県小谷村の小谷小学校と横地小学校が交流 好都市でつながる児童の輪



1 名刺交換で自己紹介 2 小谷小児童からクイズが出題される 3 横地小児童考案のすごろくゲームを一緒に楽しむ 4 「猛獣狩りにいこうよゲーム」で交流を深める 5 小谷小児童きくのんと初対面

7月13日、市と友好都市協定を結んでいる長野県小谷村の小谷小学校5年生11人が、臨海学習の一環として菊川市を訪れ、横地小学校5年生21人と交流しました。児童はお互いのまちや学校の良い所を紹介したり、一緒にゲームをしたりして親睦を深めました。横地小の児童は校歌や「能」、児童が振り付けたダンスを披露。小谷小の児童からは、小谷村のクイズが出題され、雪が降る地域の特性が紹介されました。また、両校児童が手作りした名刺の交換が行われ、お互いに緊張しながらうれしそうな様子で自己紹介をしていました。最後には、市公式マスコットキャラクター「きくのん」が登場し、全員で記念撮影をして楽しい交流の時間を締めくくりました。

昆 ひらかわ会館 こども昆虫展 虫を間近で観察

7月15日から17日まで、ひらかわ会館で「ひらかわ会館こども昆虫展」が開催されました。平川地区コミュニティ協議会が主催する恒例行事。会場には、放し飼いにされたカブト虫およそ200匹に自由に触れ合うことができる特設小屋が設置され、子どもたちは、歓声をあげて観察していました。また、昆虫食をテーマとしたパネル展示では、昆虫食のメリットやリスクなどがデータや写真と共に説明され、訪れた大人も一緒に楽しく学んでいました。



1 珍しいカブトムシに興味津々 2 小屋の中で触れ合う

本 おはなしステーション の世界へ、ようこそ

7月1日、文化会館アエルで親子読書のつどい「第32回おはなしステーション」が開催されました。絵本やおはなしの世界に触れることで、読書や図書館への興味を深めてもらおうと市立図書館が主催する恒例行事。市内の乳幼児から小学校低学年の児童とその家族およそ220人が、菊川吹奏楽団による演奏や、やなぎ文庫による絵本の読み聞かせ、水ようおはなし会によるアメリカの昔話「ソーディサルレイタス」の手作り人形劇を楽しみました。



1 楽しい楽曲を演奏 2 水ようおはなし会の手作り人形劇